

大津市歴史博物館

2017.4 ▶ 2018.3 催し物案内

Otsu City Museum of History

ご利用案内

■常設展示観覧料(1人1回につき) [平成28年4月1日以降]

区分	個人	団体(15人以上)
一般	320円	250円
高校生・大学生	240円	190円
小学生・中学生	160円	120円

※大津市内在住の65歳以上の方は一般料金の半額、大津市内在住の障がい者・要介護者及び要支援者の方とその介護者1名は無料(証明するものをご提示ください)。

※ミニ企画展は、常設展示観覧料に含まれます。

※企画展は別料金です。

■歴博カード

1年間有効のお得な定期観覧券です。また、当館発行の出版物や催し物の割引、様々な情報のご案内など、多くの特典を設けております。

料金：一般2,000円、高大生1,500円、小中生1,000円

詳しくは博物館までお問い合わせください。

■開館時間

午前9時～午後5時(展示室への入場は午後4時30分まで)

■休館日

月曜日(祝日・振替休日の場合は開館し、翌日が休館)

祝日の翌日(土・日曜日の場合は開館)

年末年始(12月27日～1月5日)

館内点検(6月20日～21日)

その他、業務の都合により休館する場合があります。

■食事・喫茶

隣接の大津市立市民文化会館内にレストランがあります。

■駐車場

約70台(無料)

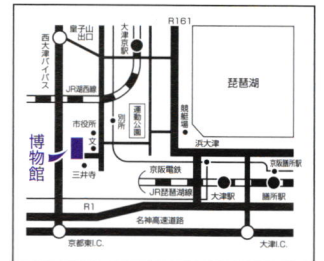
■アクセス

・京阪電鉄石山坂本線「別所」駅

下車徒歩5分

・JR湖西線「大津京」駅

下車徒歩15分



大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL (077) 521-2100 FAX (077) 521-2666

<http://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

※れきはく講座は、事前申し込みが必要です。

れきはく講座は、主に土曜日の午後14時から開催している、当館学芸員や各分野の専門家による講座です。年30回程度実施しています。また、当館学芸員や現地講師の案内で、大津市内や周辺地域の史跡や文化財を、徒歩で巡る現地見学会も、年4回程度実施しています。

れきはく講座

当館では年間に30回程度の講座を開催しています。

*当館主催以外の企画展示室を利用した催し物につきましては、ホームページをご覧ください。

ミニ企画展

当館の収蔵品や寄託品を中心に、大津に関する小企画展示です。常設展示室内のミニ企画展コーナーで、年間8回程度開催しています。

常設展示

大津市内の特徴的な6地域を視点としたテーマ展示と、市全域の歴史の流れを時代順にたどる歴史年表展示の2つの構成で、「大津の歴史と文化」を紹介しています。

企画展示

当館の調査・研究の成果より、大津・近江の歴史と文化に関するテーマを選定し、開催している展覧会です。

事業案内

第72回企画展 志賀町・大津市合併10周年記念

村の古地図 —志賀地域を歩く—

平成29年3月4日(土)～3月26日(日)

平成28年3月で、志賀町と大津市が合併して10年を迎えました。その志賀町域の和邇・木戸・小松の各地域には、集落や山林、自然を豊かに描き込んだ江戸時代から明治時代にかけての古地図が多く残されています。本展では、これら志賀地域に伝わる村絵図や地籍図の展示を通じて、集落域や自然環境の移り変わりを紹介します。

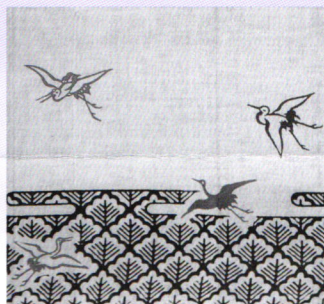
第73回企画展

たなかみ

田上てぬぐい

7月22日(土)～8月27日(日)

大津市の南部に位置する田上盆地は、豊かな田園の広がる農村です。かつてこの地方で使われていた手ぬぐいは、年齢にあわせた模様が染められ、正装にも使われるかぶり物でした。この手ぬぐいをはじめ、田上地方の衣生活の諸相、またかつての生活文化について紹介します。



田上てぬぐい

田上郷土資料館蔵

第74回企画展 遷都1350年記念

大津京

10月7日(土)～11月19日(日)



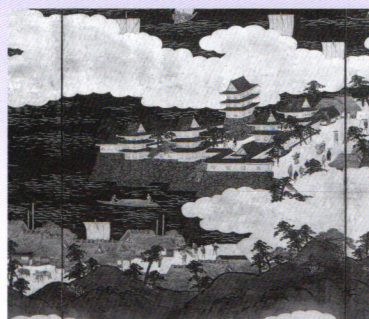
大津市指定文化財
蓮華文方形軒瓦(南滋賀廃寺出土)
白鳳時代 近江神宮蔵

天智天皇6年(667)、大津に都が置かれました。いわゆる「大津京」です。本年は遷都1350年の節目の年になります。それを記念して、宮殿内に仏殿があったことで知られる大津京にちなみ、仏像や瓦など、7～8世紀の様々な仏教に関わる文化財を展示し、華やかだった仏教文化の香りを紹介したいと思います。

第75回企画展 本多氏入封400年記念

膳所藩

平成30年3月3日(土)～4月15日(日)



近江八景図屏風(膳所城の部分)
江戸時代 本館蔵

平成29年度は、元和3年(1617)に本多康俊が膳所に入封して400年の節目の年にあたります。それを記念し、本展では、膳所城と城下町の構造や藩主本多氏と家臣団、藩校教育、膳所焼、そして幕末動乱のなかで発生した膳所十一烈士事件などについて、絵図面や屏風、古文書などのさまざまな資料によって紹介します。

3 月

第134回ミニ企画展

大津の仏教文化17 西教寺の仏画Ⅱ

平成29年1月17日(火)～3月5日(日)

比叡山の東麓にある西教寺は、慈恵大師良源が復興、後に真盛上人が再興して以来、念仏と戒律の寺院として知られています。今回は前回に引き続き、今まであまり紹介されることのなかった未指定の仏画を紹介します。

4 月

第135回ミニ企画展

大津絵 れきはく蔵出し展

4月11日(火)～5月21日(日)

歴史博物館の大津絵収蔵品を一気に公開。普段はあまり展示できない、神像や仏画の初期大津絵から、簡略で明解なキャラクターの姿が楽しい中期や後期の大津絵まで、40点あまりの作品を、まとめて蔵出しします。

5 月

第136回ミニ企画展

平成28年度新収蔵品展

5月23日(火)～6月18日(日)

当館では、購入、受贈、受託によって収蔵品の充実を行い、常設展示・企画展示に活用しています。今回は、平成28年度に新たに収集した資料をお披露目します。いずれも大津の歴史を語る貴重な資料です。

6 月

第137回ミニ企画展

玻璃丸が浮かんだころ

6月22日(木)～7月30日(日)

昭和26年、琵琶湖に大型観光船「玻璃(はり)丸」がデビューしました。このころから琵琶湖は戦前のにぎわいを取り戻します。当時のポスターなどを手がかりに、戦後から高度経済成長期の琵琶湖の観光を紹介します。

7 月

8 月

第138回ミニ企画展

戦時中の町内会

8月1日(火)～9月3日(日)

戦時中、政府や滋賀県・大津市からの通達はい町内会に出されました。金属供出や物資の配給、防空訓練など、内容は多岐に渡りました。本展では、町内の回覧板を通して見た、戦時中の市民生活を戦後も含めて紹介します。

9 月

第139回ミニ企画展 (企画展第2会場)

大津京研究史

9月26日(火)～11月26日(日)

「近江大津宮錦織遺跡」において内裏とみられる建物跡が発見されるまで、多くの人々が大津京の研究を試みてきました。本展では企画展の第2会場として、大津京所在地論争をはじめとした研究史について紹介します。

10 月

11 月

第140回ミニ企画展

三井寺の近世絵画

11月28日(火)～平成30年1月14日(日)

当館では、三井寺に伝わる絵画の悉皆調査を継続して進めています。長い歴史を有する三井寺には、仏画以外にも、非常に多くの絵画が伝えています。本展では、新たに見つかった作品を中心に、三井寺の近世絵画の世界を紹介します。

12 月

第141回ミニ企画展

大津の須恵器と生産遺跡

1月16日(火)～3月11日(日)

須恵器は、朝鮮半島から伝わった技術によって古墳時代から平安時代にかけて作られた土器です。本展では、大津市・山ノ神遺跡の出土品を中心に、市内から出土した須恵器と、その窯跡などの生産遺跡について紹介します。

1 月

第142回ミニ企画展

『大津市史』編纂の歩み

3月13日(火)～4月15日(日)

大津では、明治時代から現在まで、いくつもの『大津市史』が作られてきました。本展では、それらの編纂過程で収集・寄贈され、当館に移管された古文書・歴史資料を展示し、あわせて大津の歴史編纂の歩みを紹介します。

2 月